八木北保育園　自己評価表

令和7年度

保育園は常に質の高い保育が求められ、子ども１人ひとりの権利を保障し、成長を促す役割と責任がある。そのためには、保育者自身の人間性や専門性の向上を図ることは大切である。

評価：次の基準によって評価欄に○・△・×と記入する

○　　十分理解している（十分できている）
△　　理解している（できている）
×　　努力が必要である

【評価】　　【内容】　　【意見・改善策】

１．保育の理念・目標・計画・評価

○	保育所指針と保育理念・目標の関係を理解し、保育過程を立てている。	
○	保育過程に基づいた具体的な保育指導計画を作成している。	
○	多様な保育需要に対して、地域や保育所の特性を考慮した柔軟な計画を作成している。	
○	各年齢の発達段階を理解し、それぞれの年齢にあった指導計画であり、個々の発達にも留意したものを作成している。	
○	保育士は、自らの保育実践を振り返り・評価し、専門性の向上や改善に努めている。	

２．保育の内容

△	子どもの発達過程やその連続性を踏まえ、保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう、必要な事項に配慮して保育を行っている。	
○	評価結果を基準に、保育の改善に努めている。	
○	子どもの気持ちを理解し、信頼関係を築いている。	
○	子どもたちが日々安全に過ごすための、安全な環境や適切な衛生状態に努めている。	
○	身体的・精神的・情緒的発育や家庭環境及び食事習慣等、総合的に多面的に子どもの状態を把握している。	

○	食育計画を作成し、日々の保育の中で子どもの「食を育む力」の育成に向け、その基礎を培わなければならないことを理解している。	
○	行事の種類や実施回数は適切に行われている。	
○	行事の計画・実施・評価・改善の体制をとっている。	職員会議等にて多様な意見を反映している

３．保育園の組織・役割分担

△	豊かな人間関係の育成を目指したクラスの保育運営が行われ、連携が円滑に行われている。	職員間の連携がもっと必要
△	保育に関わる様々な知識や技能の向上に努め、保育の悩みや疑問を解決するため、必要な研修に参加したり専門書を読むなどして自己研鑽を積んでいる。	キャリアアップ研修以外の研修の参加できるようにする
○	全職員は、施設内外の環境維持・向上に努め、安全対策の共通理解や体制作りに努めている。	
△	職員間で常に報告・連絡・相談の体制が機能している。	職員間の連携がもっと必要
○	火災・地震・不審者侵入等の危機管理に努めている。	

４．家庭・地域社会

○	家庭との関係を図るように努めている。	
○	関係機関と連携を図り、有効な対応に努めている。	
△	地域や保護者の意見を施設運営に反映している。	地域活動は少ない

５．事務管理・運用

○	個人記録簿は、適切に記載し整理保管している。	
○	職員に園内で知りえた事柄に対して、守秘義務を周知・徹底している。	
○	各種会計を適正かつ適切に処理している。	

６．情報発信

○	保育園だより・食育だより・ホームページ等で、施設の情報を発信している。	

７．分析・総評

保育目標である『あかるい子・じょうぶな子・やさしい子』を目指すべく細やかな保育を第一に考え、自然遊び、散歩、食育活動を行った。
保育園の運営面の見直しのため千葉県福祉サービス第三者評価を受審した。保育園の運営面で良い面もたくさん気づくことができた半面、職員、保護者からのいくつかの要望も発見できた。それぞれしっかりと考察し今後につなげていきたい。
近年の夏場の猛暑のため、7月に行っていた夏祭りをやぎきたまつりとして７月に行うように変更した。今後も環境等に応じた行事の内容の変更等を考えていく。またそのほか子どもたちが多くの経験を得ることが出来るようにプール指導や四季折々の行事活動を行い、自分の気持ちをしっかりと相手に伝えたり、運動会や発表会を通じ、仲間と一緒に行動したり、力を合わせて創造している様子がみられた。異年齢保育を実践し、思いやり、やさしさ、友達を尊重する気持ちが育むような活動ができた。